

**たまプラーザ駅北側地区における「次世代郊外まちづくり」
 (仮称)美しが丘一丁目計画の地域利便施設が
 エリアマネジメントやまちづくりの拠点として10月からオープン**

横浜市は、平成24年から東京急行電鉄株式会社と締結した東急田園都市線沿線のまちづくりの包括協定を基に、産学公民が連携した**持続可能な住宅地推進プロジェクト**の1地区として、「たまプラーザ駅北側地区（青葉区美しが丘一、二、三丁目：約120ヘクタール）」で郊外住宅地再生の取組を進めてきました。

平成25年には、地区で共有するまちづくりの目標・指針として「暮らしと住まいの**グランドデザイン**」を策定し、大規模敷地での建替えや開発事業などの機会をとらえ段階的に必要な機能を誘導しています。

この度、企業の社宅跡地において地区計画等を活用しながら誘導を進めてきた**(仮称)美しが丘一丁目計画の地域利便施設**（保育所、学童保育、コミュニティカフェ、コワーキングスペース）の**入居事業者が決まり、10月から順次オープン**します。（詳細は、別紙の東京急行電鉄株式会社記者発表資料をご参照ください。）

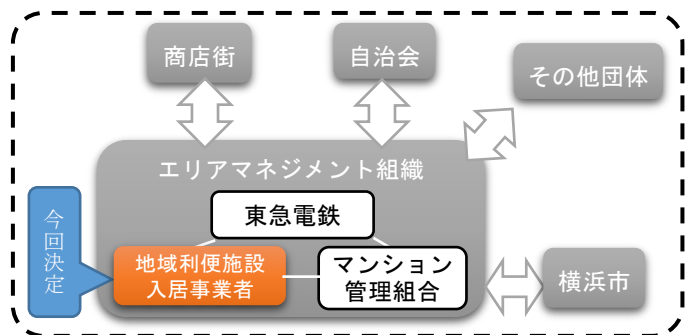
今後、**地域利便施設は、賑わいの創出や多世代コミュニティの交流など、入居事業者も参画したエリアマネジメントやまちづくりの拠点**となります。

■外観のイメージ



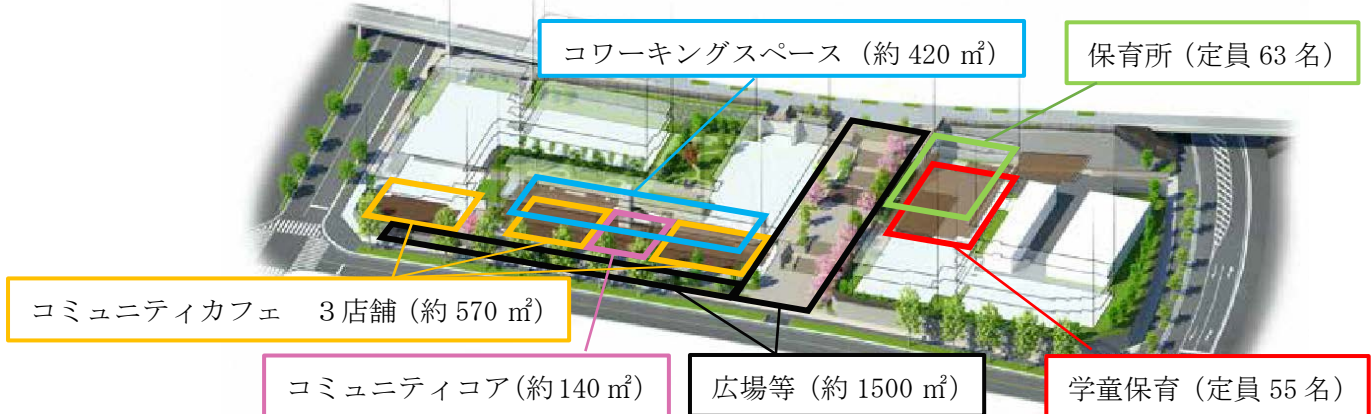
■エリアマネジメントの推進イメージ

・情報発信、イベント、広場の運営等を実施します。



■地域利便施設・広場等の概要

・エリアマネジメントやまちづくりの拠点となります。



お問合せ先

建築局住宅部住宅再生課長

温暖化対策統括本部環境未来都市推進課担当課長

こびやま まさかず
古檜山 匡和 Tel 671-4543

おおかげ なおこ
大蔭 直子 Tel 671-2477

<参考>

■暮らしと住まいのグランドデザイン

たまプラーザ駅北側地区では、「暮らしと住まいのグランドデザイン」に基づき、大規模敷地での建替えや開発事業などの機会をとらえ段階的・連鎖的に必要な機能を誘導しています。



■これまでの経過と主な取り組み

年月	主な取組
平成 24 年 4 月	横浜市・東急電鉄「次世代郊外まちづくり」の包括協定締結
6 月	環境未来都市計画の主要なプロジェクトとして実施する第 1 号のモデル地区に決定
平成 25 年 6 月～	「次世代郊外まちづくり基本構想 2013」を策定 住民創発プロジェクトなどの取り組みを推進
12 月	「暮らしと住まいのグランドデザイン」を策定
平成 28 年 8 月	(仮称) 美しが丘一丁目計画を含む街区において 地区計画を都市計画決定
12 月	(仮称) 美しが丘一丁目計画の工事着手
平成 29 年 2 月	地域活動拠点 (ワイズ・リビング・ラボ) 共創スペースオープン
4 月	横浜市・東急電鉄「次世代郊外まちづくり」の包括協定更新
5 月	地域活動拠点 (ワイズ・リビング・ラボ) 全面オープン
平成 30 年 7 月	(仮称) 美しが丘一丁目計画の入居事業者が決定